



千葉市立高浜海浜小学校発行 No. 1

令和6年度のスタートにあたって

校長 前田 知美

桜も満開に咲き誇り、春本番となりました。いよいよ新しい1年の始まりです。

お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。子供たちの元気いっぱいの「おはようございます」の挨拶やきらきらとした瞳は、期待と希望で満ちあふれています。そんな子どもたちを見て、私たち教職員も元気とやる気でいっぱいです。ただ、教育活動は、保護者の皆様、並びに地域の方々のご理解とご協力なしには成り立ちません。今後とも連携を図り、地域に開かれた学校・地域から信頼される学校でありたいと思っております。何かございましたら、遠慮なさらずに、ご連絡ください。

さて、令和6年度の高浜海浜小学校は、9日(火)の入学式で32人の1年生を迎え、全校児童232人でスタートしました。

本校の学校教育目標は「思いやりの心もち、意欲的に学ぶ高浜っ子」とし、今年度も校名の頭文字「たかはま」にかけて「目指す子どもの姿」を以下のように設定しました。

た くましい子

- ・心身ともに健康な子
- ・粘り強く努力する子

か かわれる子

- ・相手の気持ちや立場を考えられる子

は つらつとした子

- ・生き生きと意欲的に行動する子

ま なびあう子

- ・友達のよいところをみつけられる子

今年度は特に「あいさつ」をすることに力を入れ、目指す子どもの姿に近づくよう全校児童と教職員で取り組んでまいります。入学式では「あいさつは仲良くしようの合図だよ」、始業式では「あいさつは人と人をつなぐもの」という話を子どもたちにしました。

「あいさつ」から話が広がり友達が増え、人とのつながりが持てます。ただ、中には「あいさつ」をすることや、されることが苦手な子もいるかもしれません。そんな時は、相手の気持ちを考え、やさしく待ってあげられる子になってほしいと願っております。個々に寄り添い、子ども一人一人を大切に教育活動をしてまいります。

今年度高浜海浜小学校は、高浜二小と高浜三小の統合から13年目を迎えます。開校時の願いをしっかりと受け継いでいくとともに、「高浜海浜小学校っていいな!」「高浜海浜小学校に通いたいな!」「高浜海浜小学校を卒業できてよかったな!」と感じられるあたたかく居心地のよい学校にしていきたいと考えております。今後とも変わらぬご協力・ご支援をお願いいたします。

【学校における合理的配慮の提供について】

平成28年4月1日から公立学校において、合理的配慮の提供が義務となっております。合理的配慮は、子どもに合った必要かつ適当な変更及び調整で、特定の場面において必要とされ、過度な負担を課さないものです。学校に合理的配慮の提供を求める場合には、学校(学級担任)にお申し出ください。

【生命(いのち)の安全教育月間について】

千葉市は、子どもたちが性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないための教育や啓発の充実を進めています。毎年4月を「生命(いのち)の安全教育月間」として、子どもたちに生命の尊さや素晴らしさ、自分や相手を尊重し大事にすること、一人一人が大切な存在であること等を伝えます。